



ジャガイモ掘りに挑戦する園児

たくさんとれたよ

■ジャガイモ掘り／あおぞら保育園

あおぞら保育園の4・5歳児約50人が6月3日、大沢地内にある八木通雄さんの畑でジャガイモ掘りを体験しました。

八木さんから掘り方を教えてもらった園児らは、土の中から力いっぱい引っ張り出したり、手で掘り起こしたりして、丸々と育ったメークインを次々と掘り出しました。

大きなジャガイモが顔を出すと、「大きい」「たくさん取れた」と大喜びで、持参したビニール袋いっぱいに詰め込んでいました。

環境への取り組みを深めよう

■平成23年度環境月間県民大会

平成23年度の環境月間県民大会（静岡県、牧之原市主催）が6月2日、い〜らで開かれました。

大会では県内11の企業と団体が、森林整備や森林環境教育に取り組む「しずおか未来の森サポーター」に認定され、代表して牧之原市突呼キャンペーン実行委員会（今野朝子会長）が、川勝知事から認定証を交付されました。

今野会長は「認定されて大変うれしい。これからも市民が協力して、省エネに取り組みたい」と抱負を語りました。



県知事から認定証を受け取る今野会長

ペットの飼い方接し方を学ぶ

■動物愛護教室／牧之原小学校

ペットを飼う責任や命の大切さを知ってもらう動物愛護教室が6月10日、牧之原小学校で開かれ4年生33人が参加しました。

県中部保健所職員や地元の獣医師から動物の習性や特徴、動物愛護の考え方などの説明を聞いた後、飼い犬を伴った動物愛護ボランティアらの指導により犬との安全な接し方を学びました。

始めは不安そうな顔をしていた児童も実際に触れ合い、犬が体をすり寄せてくると「かわいい」と敬声を上げていました。



大型犬を触って喜ぶ児童



就航先5都市の観光親善大使たち

開港2周年を多彩に祝う

■富士山静岡空港開港2周年記念式典

開港2周年を迎えた富士山静岡空港で6月4日、記念式典が開かれました。式典では川勝知事が駐機場や展望台などの施設整備を紹介し、「震災後の自粛ムードで搭乗率が伸び悩んだが、地域とともに発展する空港を目指したい」とあいさつ。

ほかにも就航先の親善大使による観光PRなど、開港日を祝うさまざまな催しが行われました。到着ロビーでは、西原市長や茶娘に扮した市観光特派員らが利用客に新茶や記念品を手渡し、到着を歓迎しました。



表彰状と総理大臣旗を手に、市長に喜びの報告をする児童

私たちの笑顔も咲いた

■FBC総理大臣賞受賞報告／萩間小学校

萩間小学校の花壇が、「フラワー・ブラボー・コンクール」(FBC=県、県教育委員会、中日新聞社主催)で内閣総理大臣賞を受賞しました。

6月15日、同校の稲見さくらさん、大石美佑さん、黒田美結さんが市役所榎原庁舎を訪れ西原市長に受賞の報告をしました。

市長が「後輩にもこの伝統を受け継いでもらえるように頑張って」と激励の言葉をかけると、3人は「毎朝の水かけや草取りが大変だった」「仮植するときに苗が倒れないようにした」「風で苗が倒れないかが気になり昼休みにも土入れをした」などと苦労話を語ってくれました。

地域のニュースを毎週お届けします

■「マキノハラTV」開局

牧之原市内の幅広い情報を伝えるローカルテレビ局、地域情報サポートネット「マキノハラTV」(伊藤聡昭代表)が4月、開局しました。毎週火曜日から金曜日までの午後7時から地域の話や音楽、イベント情報など身近な情報をインターネットで生放送しています。

5月27日の放送ではパーソナリティの相良高校2年生の渡井将太さん(大沢)が富士山静岡空港株式会社の吉岡徹郎代表取締役と対談しました。

*マキノハラTV <http://www.makinohara.tv>



吉岡社長(左)と対談する渡井さん(右手前)



くす玉を割り開港40周年を祝う知事ら

物流拠点の発展に期待

■御前崎港開港40周年記念式典

5月26日、御前崎港の開港40周年記念式典が同港で行われました。式典には川勝平太知事や牧之原市・御前崎市の両市長らが出席しました。

昭和46年、関税法による開港指定を受けた同港は現在海外3航路、国内2航路が定期就航し、年間約13万台の完成自動車や多くのコンテナ貨物などが取り扱われています。県と両市では、県中西部地区の物流拠点として更なる利活用の推進を図ると共に、地頭方地区における施設拡張など新たな岸壁整備の実現に向けて努力していきます。

広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎230052 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

